

交換留学（派遣）帰国報告書

.....

留学先大学 : 西オーストラリア大学

留学先での所属学部・研究科 : Faculty of Arts

留学先での在籍身分 : 学部生

留学期間 : 2015 年 2 月 ~ 2015 年 11 月

神戸大学での所属学部・研究科 : 国際文化学部

学年（出発時） : 3回生

本報告書記入日 : 2015 年 12 月 07 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日 : 2 月 23 日

学年終了月日 : 11 月 22 日

学期 :

① 2 月 23 日 ~ 6 月 21 日

② 7 月 27 日 ~ 11 月 22 日

③ ____ 月 ____ 日 ~ ____ 月 ____ 日

④ ____ 月 ____ 日 ~ ____ 月 ____ 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

西オーストラリアで最も権威のある国立大学で、日本でいう旧帝国大学のひとつのような扱いです。したがって学部の種類も多岐にわたりており、敷地も広大です。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート :

StudySmarterと呼ばれる留学生向けの授業が、主にお昼あたりのコマに開催されています。留学生同士が英語で会話をしたり、プレゼンの練習をしたりしています。

勉学面でのサポート :

WtiteSmaterと呼ばれる論文の添削指導が予約制で図書館で行われています。参考文献の書き方や注釈の付け方などをチェックしていただきました。

精神面でのサポート :

私は利用したことはありませんが、大学のメディカルセンターでカウンセリングなどが行われているようです。

住居・生活面でのサポート：

Enrollmentが完了すると、Facebookのその年の留学生のグループに招待され、そこでシェアハウスのハウスメイトの募集などがかかっています。

課外活動のサポート：

特に思い当たるものはありません。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい

いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気をつけること等)

住居費がとても高くないので、寮かホームステイ、シェアハウスなどを見つける人が多いです。私は寮にいましたが、友達をたくさん作ることができ、大学へのアクセスもいいので勉強にも集中できましたが、それでも寮費が相当かかってしまいました。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

特にありません。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

OSHCのみです。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

寮で月150GのWi-fiが使えました。

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

図書館にPCがありましたら、あまり使ったことはありません。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

風邪を引いたときに一度通いましたが、保険に加入をしても薬代も含めて1万円近く使いました。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

オーストラリアといえど冬場はかなり冷え込みます。日中が暖かい日でも朝夕に急激に冷え込むことがあるので、温度調節に気を遣わないと風邪を引いてしまいます。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

現地の銀行口座(Commonwealth Bank)を開設し、日本からまとまった金額を送金してもらいました。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

よくも悪くも仕事に一生懸命ではなく、自分の時間を大切にする人が多いです。したがって5時に閉まる店が多く、最初は不便に感じていましたがすぐに慣れました。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

日本人や中国人の社会人で構成されるテニスサークルに参加していました。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

アルバイトをしようと思っていたのですが、勉強が忙しくて余裕がありませんでした。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

オーストラリアの西海岸に位置するためアジア系の人も多く、外国人に対しては比較的寛容な人が多いと思います。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

していません。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) 日本学生支援機構 70,000 円／月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

オーストラリア版の地球の歩き方は重宝しました。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

コンセントの形が違うので変換機をいくつか持参しました。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL iBT) 80 点→帰国後 () 点

語学力の向上はもちろんですが、海外に行くことがほとんど初めてだったので、異文化に対する認識が変わりました。今までどうしても自己文化の価値観を中心に物事判断しがちだったのですが、異文化を異文化として割り切って理解することができるようになったと思います。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

特に大きなトラブルはありませんでしたが、強いて言うならATMのトラブルでキャッシングカードがATMに吸い込まれて出てこなくなりました。本店に併設してあるATMだったので、銀行員の方に直接事情を説明するとすぐに取り戻すことができましたが、このような銀行のトラブルは結構多いようです。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

大学のサポートは特に不満などはありませんでしたが、オーストラリアの物価に対する奨学金の額が、他国の奨学金と比べて随分低く感じました。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

大いにおすすめします。物価の高さは大きな難点ですが、授業の質も高く、立地もよく、親切な人も多く、留学する環境は十分に整っていると思います。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 4
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 3
- ・全体として留学に係る費用は安かつたと思い、満足しましたか： 1
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 4

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1	English Language and Academic Communication I	Penny Hawken	135分	6	30～40	細かな課題が多いですがきちんとこなせばパスすることができます。
2	English Language and Academic Communication II	Penny Hawken	135分	6	20～30	1と内容的にはほとんど変わりませんでした。
3	Introduction to Critical Thinking		135分	6	70～80	哲学のユニットですが内容は論理学でした。試験はそこまで難しくないです。
4	Old Worlds and New Empires		135分	6	70～80	Tutorialの予習で毎週文献を読むのが大変でした。
5	An Age of Violence: the Making of the Modern World, 1789-210	Giuseppe Finaldi	135分	6	70～80	4と同じく予習のための文献が多くて大変です。
6	God, Mind and Knowledge	Miri Albahari	135分	6	70～80	試験はそれほど難しくはありません。内容もおもしろいです。
7	Life Thought and Culture in Pre-modern Europe	Stephanie Tarbin	135分	6	20～30	歴史のユニットではありませんが、欧洲の古代・中世史のような授業でした。
8	The Contemporary International System	Kit Morris, Samina Yasmeen	135分	6	70～80	Tutorialでショートプレゼンがあり、またエッセイも課されます。
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

留学生に対しても成績はシビアですが授業の質は高いです。積極的な学生が多く、講義中でも頻繁に質問が飛び交ったり、ディスカッションが盛り上がったりしていました。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃 : 13万円
- ・住居費 : (月額) 18万円 × (留学月数) 10 ヶ月 = 180万円
- ・食費 : (月額) (住居費に含まれる) × (留学月数) ヶ月 =
- ・保険料 : 5万円
- ・その他 : 15万円

合計 : 213万円 (留学期間全体の費用)

その他　自由に記入してください。(800字～)

10か月の短い期間でしたが、非常に濃くて充実した留学生活を送ることができました。パースはオーストラリアの西海岸に位置するため、東海岸の都市よりも東南アジアの国々と近く、そのような地理的な特徴もあってか非常にアジア人も多く、外国人に大して非常に寛容的で留学生が溶け込みやすい土壌が整っています。私がパースに来たばかりでまだ英語が拙かった時期も、寮の人たちは積極的話を聞いて助けてくれようとしてくれたり、街の人々も私が外国人だとわかると私にとってわかりやすいように丁寧に説明してくれたり、とてもいい人たちに恵まれました。仲のいい友達には英語のエッセイを添削してもらったりしていました。慣れ親しんだ日本食がなかなか食べられなかったことはストレスを感じてしまいましたが、それ以外に関しては、特に人間関係などで思い悩むこともなく楽しく過ごすことができました。

勉強はかなり忙しかったです。毎週のようにエッセイなどの課題があったり、Tutorialのためのリーディング・アサインメントがあったりと、毎日勉強に追われていました。大学生の本分は勉学であるため、そのことに対する不満などは全くありませんが、やはり外国語で勉強をするには、ネイティブがやるよりも倍以上時間をかけなければならないので、相当な努力が必要だと感じました。しかし、自然も美しく適度に息を抜きながら取り組むことができたので、こうしたストレスも深く抱え込むことはありませんでした。

反省点としては、勉強以外の課外活動にあまり取り組むことができなかつたことです。想像以上に物価が高かったため遠出や外でお金を使うことに億劫になってしまったのですが、卒業を一年間遅らせてまで留学を選んだので、確かに海外で勉強することには大きな意義はあったと思うのですが、それ以外の活動にも積極的に取り組んでもっと経験を増やしていればなと思いました。